

# 情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会  
会長 井部良一(富士見台小学校)

平成28年5月 第1号  
担当 平小学校 武野結基

## 「川崎市立小学校情報教育研究会総会」を開催しました



平成28年度会長  
井部良一先生（富士見台小学校校長）

平成28年5月11日（水）、川崎市立稲田小学校にて、川崎市立小学校情報教育研究会総会を開催しました。本年度も多くの会員を迎え、大盛況の中、開会されました。

研究会からは、中原小学校で7月6日に行われる第1回研究授業、7月25日に行われる情報・視聴覚センターとの共催研修や、毎年行われているビデオ映像創作展、また校務支援システムを使った「情報図書お助け回覧板」を今年度も運用していくことのお知らせしました。

今年度の情報・視聴覚センターとの共催研修は、ICTだけでなく、図書資料も扱う研修を計画しています。多くの方のご参加をお待ちしています。

## 講演「心をわくわくさせる読み聞かせ」

小澤 俊夫先生（筑波大学名誉教授 昔話研究所所長）

「昔話はどこにありますか。」という問いかけから始まった小澤先生の講演。「昔話は、それが語られている時間、聞いている時間だけにある。」という語りは、会場全体がぐっと引き込まれました。

『馬方と山姥』という昔話を聞かせていただきました。この昔話は、同じ場面が同じ言葉で何度も語られます。「音楽にも必ず同じメロディーがでてくる。人間は同じものを聞くことが好き。」「子どもが気に入った話を何度も同じ言葉で語ることが、魂の安定につながる。」という語りには、はっとさせられました。

さらに、「昔話は残酷なことは語るが、残虐には語らない。昔話は切り紙細工的に語る。だから、馬が3本脚で平気で走る。大人の尺度で考えず、子ども時代にしかない感受性を大切にしてほしい。昔話を聞いて、残虐な大人になることはありえない。」と語られた小澤先生。「メディアを使って次の時代に残すことは大切。でも人間の生の声も大切。同じ空間で、近い距離で、生の声で、子ども達に語ってほしい。」というお話からは、時代が移り変わっても決して変わることはない大切なことを考えることができました。

## 6月1日(水) 15:30～ 稲田小学校

情報主任会  
図書主任会  
のお知らせ

情報主任会では、情報交換やお悩みの相談のほか、情報主任の仕事のノウハウやICT機器の活用、ホームページの更新についての相談会を開催します。

図書主任会では、読書感想文募集要項を配布します。皆さんのお役に立てるような主任会にしたいと考えています。